



# スポーツを軸とした 地域イノベーションに向けて

---

いわき市





東京から約200km  
特急で2時間15分



人口：350,237人  
(東北2位)

面積：1,232km<sup>2</sup>  
(全国12位)

昭和41年10月：14市町村の合併により「いわき市」誕生

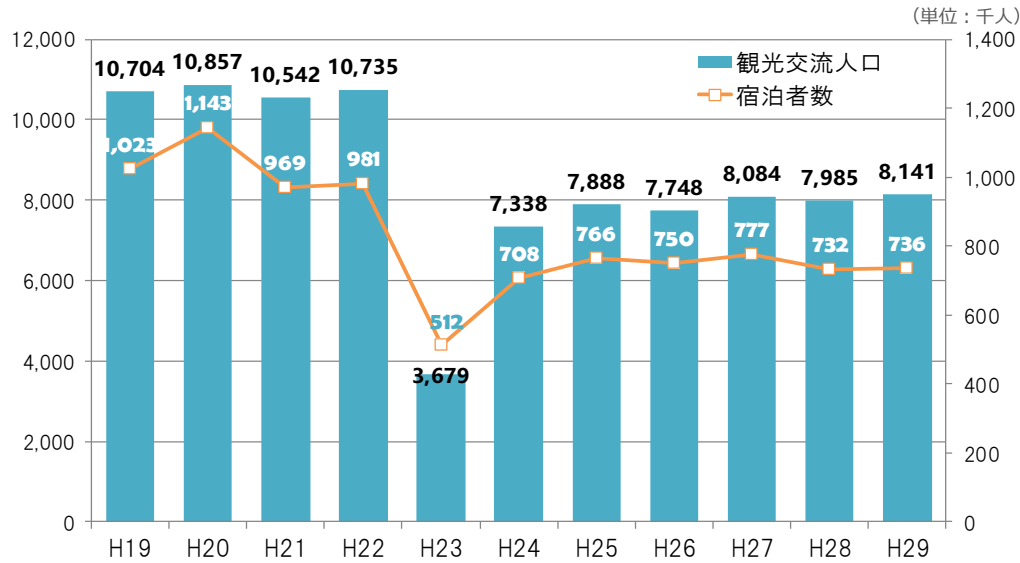
昭和61年 3月：スポーツ都市宣言

平成11年 4月：中核市に移行

平成28年 4月：スポーツ部門を教育委員会から市長部局に移管

平成28年10月：市制施行50周年

## 観光交流人口の推移



震災前 2010年      東日本大震災 2011年      震災後 2017年      震災前との比較

アクアマリンパーク  
(水族館など)

245 万人      55 万人      174 万人      △29 %

スパリゾート  
ハワイアンズ

180 万人      35 万人      185 万人      +3 %

湯本温泉

59 万人      54 万人      31 万人      △48 %

海水浴など  
アウトドア系

200 万人      31 万人      55 万人      △73 %

- 震災後、本市の観光交流人口・宿泊者数は減少。特に、海水浴などのアウトドア系で減少が顕著。

## 交流人口の拡大に向けた取組み [スポーツイベントの実施]



いわきサンシャインマラソン  
参加者 1万人



ツール・ド・いわき  
参加者 1,100人



ラグビートップリーグ



フラガールズ甲子園



東日本サーフィン  
選手権大会



ウォーキングイベント

- 観光交流人口の拡大に向け、震災後、多様なスポーツイベントを実施

## 交流人口の拡大に向けた取組み [地域未来投資促進法に係る地域創生推進交付金事業]

- スポーツを地域の新たな経済エンジンとして、新たな人の流れの創出や、地域経済の好循環を生み出すため、地域初のプロサッカーチームを目指すいわきFCとの連携により事業実施。



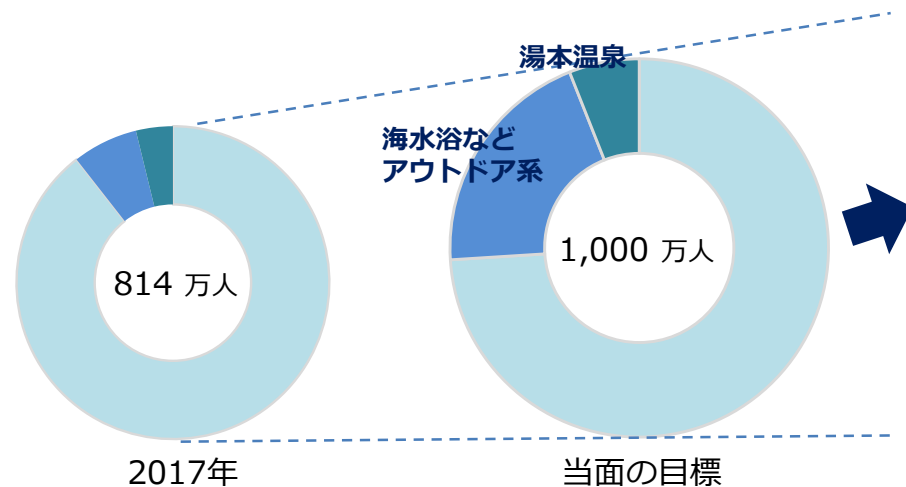
- 地域未来投資促進法基本計画に位置付け、地方創生推進交付金を活用して事業展開
  - 事業実施期間：H30～32年度
  - H30年度予算：107,840千円
- 官民が連携し、スポーツによる人・まちづくりを推進
  - H29年10月に、69団体の参画により「スポーツによる人・まちづくり推進協議会」が発足

## スポーツコミッションの充実強化

- スポーツツーリズムを促進するため、いわき市スポーツコミッションを設置し、官民連携でスポーツ大会、合宿を誘致。
  - スポーツ大会補助 15～30万円/1大会
  - スポーツ合宿補助 10～100万円/1団体

## さらなる交流人口拡大に向けて

[観光交流人口]



海水浴などアウトドア系と湯本温泉の震災前までの回復により、約1,000万人まで観光交流人口が回復

今後、

- アウトドア系の観光交流人口の回復
- 湯本温泉の再興

に向けた施策を重点的に展開

60kmに及ぶ美しい海岸線



美しいあぶくま山系の山々



サーフィン



サイクリング



クライミング



渓谷トレイル



フィッシング



マリンスポーツ



ビーチバレー



ヒルクライム



ウォーキング・フットパス





新舞子ヴィレッジ



いわきFCパーク



サンマリーナ (再開準備中)



いわきグリーンスタジアム  
(野球場 市内4ヶ所)



豊富なゴルフコース  
(市内11ヶ所)



全長53kmのサイクリング  
ビーチロード (整備中)



いわき平競輪



充実した武道環境



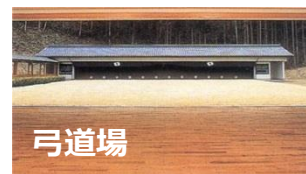
乗馬クラブ



いわきグリーンベース



武道場



弓道場



スケボーパーク (整備中)



海・山・文化財などの豊富な地域資源を活用した  
様々なスポーツの取組みが実施可能





# いわき市マップ



KEIRIN



豊富なサーフスポット



新舞子ヴィレッジ



サンマリーナ



サイクリングロード  
(沿岸線53km)



豊富なゴルフコース



遠野オート  
キャンプ場



竜神峡



南の森  
スポーツパーク



湯本温泉



21世紀の森  
スポーツ公園